



発寒地区では、町内会・商店街・子ども会・小学校・青少年育成委員会などが協力してさまざまな環境活動に取り組み、環境に優しいまちづくりを呼び掛けています。



落ち葉の堆肥化 ～みどりの貯金箱～

公園内の落ち葉を発酵させて堆肥化する「みどりの貯金箱」の取り組みを行いました。堆肥ヤードは、発寒大空公園とはつなん公園にそれぞれ設置されており、町内会など地域の方々が協力して作業を進めました。春には堆肥が完成し、商店街や小学校の花壇などで活用される予定です。

廃食油でエコ石けん・キャンドル作り



商店街の店舗などで回収した廃食油(使用済み天ぷら油)をリサイクルし、商店街のお祭りなどでエコ石けん作り体験教室を開催しました。

また、小学校や保育園などでエコキャンドル作りの出前授業を行いました。



天ぷら油から石けんやキャンドルができるなんてすごいね！

エコタウンはっさむフェア

10月3日、発寒まちづくりセンターで「エコタウンはっさむフェア」を開催しました。エコバッグ作りやエコ石けん作りなどが行われ、多くの人でにぎわいました。



環境施設見学会

10月1日、地区内の小中学生が環境について学ぶため、施設見学会を実施しました。

◆北海道博物館



◆札幌市青少年科学館

